

## 第119回横浜市景況・経営動向調査（令和3年12月実施）（通常調査）

### 調査結果のまとめ

**自社業況BSIは、全産業でマイナス26.0と、前期より2.4ポイントの上昇**  
先行きについては、来期はほぼ横ばいで推移するものの、再来期は上昇し、回復傾向が続く

**飲食店・宿泊業BSIは4期ぶりに改善するも、来期以降も依然厳しい見通し**

【調査のポイント】

- 今期（令和3年10-12月期）の自社業況BSI（※）は▲26.0と、前期（▲28.4）と比べて2.4ポイント上昇しました。
- 業種別では、**製造業の今期のBSIは▲27.2**と、前期（▲22.1）より5.1ポイント低下しました。**非製造業の今期のBSIは▲25.3**と、前期（▲33.0）より7.7ポイント上昇しました。
- 規模別では、**大企業の今期のBSIは▲12.8**と、前期（▲20.0）より7.2ポイント上昇、**中堅企業の今期のBSIは▲17.6**と、前期（▲22.9）より5.3ポイント上昇しました。**中小企業の今期のBSIは▲28.8**と、前期（▲30.5）より1.7ポイント上昇、また**中小企業のうち小規模企業の今期のBSIは▲32.2**と、前期（▲39.0）より6.8ポイント上昇しました。
- 先行きについては、来期（令和4年1-3月期）の自社業況BSIは▲26.8、再来期（令和4年4-6月期）は▲22.4と、**来期はほぼ横ばいで推移するものの、再来期は上昇し、回復傾向が続く見通し**です。
- **飲食店・宿泊業BSIは▲76.2**と、前期（▲100.0）より**23.8ポイント上昇し、4期ぶりに改善**したが、来期以降も依然として厳しい状況が続く見通しです。

【調査対象】 市内企業 1,000 社（回収数：679 社、回収率：67.9%）

【調査時期】 3年11月2日～12月1日（調査票回答期間及びヒアリング調査期間）

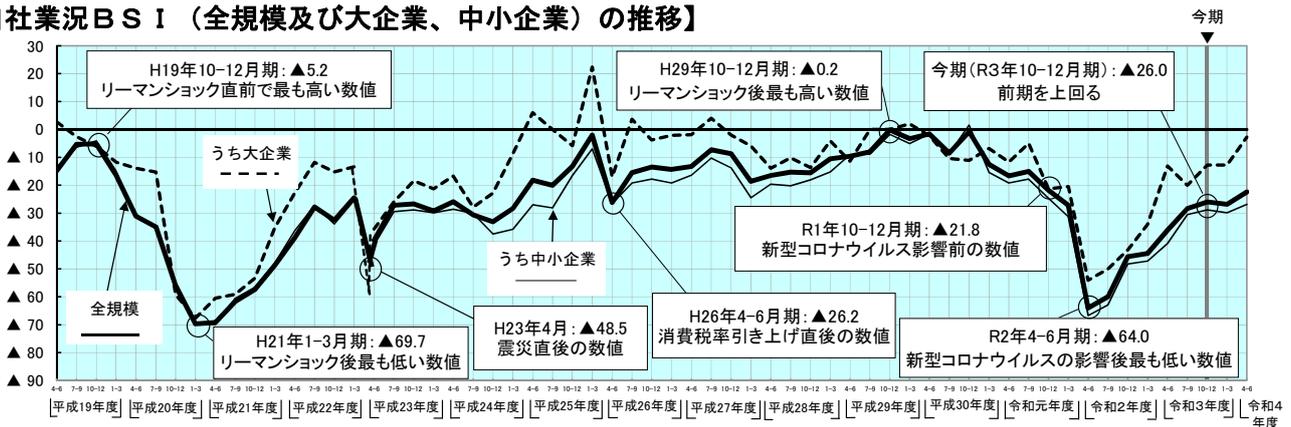
※調査票回答期間は令和3年11月2日～11月21日

※ BSI（Business Survey Index）：自社業況 BSI は、自社業況が「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を減じた値です。

### 【調査の概要】

#### 1 自社業況判断（自社業況 BSI：良い%－悪い%）

#### 【自社業況 BSI（全規模及び大企業、中小企業）の推移】



#### 【自社業況BSI(業種別・規模別)の推移】

		令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	今期-前期	令和4年	令和4年
		1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期		1-3月期	4-6月期
				(前期)	(今期)		(来期)	(再来期)
全産業		▲44.5	▲36.1	▲28.4	▲26.0	2.4	▲26.8	▲22.4
業種	製造業	▲45.3	▲35.1	▲22.1	▲27.2	▲5.1	▲29.1	▲23.4
	非製造業	▲43.9	▲36.7	▲33.0	▲25.3	7.7	▲25.4	▲21.8
規模	大企業	▲34.1	▲13.1	▲20.0	▲12.8	7.2	▲12.8	▲2.7
	中堅企業	▲39.2	▲25.3	▲22.9	▲17.6	5.3	▲17.5	▲7.3
	中小企業	▲47.2	▲40.9	▲30.5	▲28.8	1.7	▲29.9	▲26.9
	うち小規模企業	▲50.4	▲44.3	▲39.0	▲32.2	6.8	▲32.7	▲29.1

（注）令和4年1-3月期及び令和4年4-6月期は見通し。

【業種別動向】(前期:令和3年7月~9月期、今期:令和3年10月~12月期、来期:令和4年1月~3月期)

業種	前期	今期	来期	ヒアリング対象企業のコメント
食料品等	▲ 25.0 (▲ 28.5)	▲ 28.6 (▲ 25.0)	▲ 35.8 (▲ 41.7)	・商品の購買層である遠方からの観光客が戻らないことや牛肉の海外需要の増加等による価格上昇の影響で、売上は新型コロナ前に比べ約2割減となっている。貿易の影響は来年1月くらいまで、新型コロナの影響は今後も続いていく見通し。(食料品加工・販売) ・緊急事態宣言解除により人が動くようになったことで今期の売上は昨年に比べ増加傾向だが、お土産の需要が戻らず、新型コロナ感染拡大前に比べると約1割減少している。今後の見通しは新型コロナの感染状況により左右される。(洋菓子製造・販売)
鉄鋼・金属等	▲ 7.9 (▲ 8.0)	▲ 23.3 (▲ 23.8)	▲ 27.1 (▲ 27.6)	・今後も取引先である輸送機器メーカー等の半導体不足の影響による需要減や、新型コロナの影響で今後の国内需要が見通せないため、業況は悪いとした。(金属加工) ・試作の製造を主要業務としているが、新型コロナ感染拡大の影響によってリモート化等の業務変革が一気に進み、印刷機器等の開発計画も減ってきている。以前よりも売上は減少している。(金属部品製造)
一般機械	▲ 32.6 (▲ 37.5)	▲ 35.2 (▲ 39.6)	▲ 34.6 (▲ 34.8)	・今期は、海外へ輸出する検査機メーカー等の大きな取引先をはじめ、全体的に受注量が減っている。半導体不足の影響もあると考えている。来期以降も不透明な状況が続く見通し。(金属機械加工) ・国内の半導体製造装置向け部品の需要が高く好調であるため、今期業況は良い。受注生産で相手方次第の商売であるため、来期以降の見通しは不透明である。(電子部品等受託生産)
電機・精密等	▲ 5.0 (▲ 8.5)	▲ 2.4 (▲ 2.6)	▲ 9.7 (▲ 11.1)	・新型コロナの影響により多くの事業が思うように展開できなかったが、緊急事態宣言解除後、特に研究開発支援に関する受注が増え、売上・経常利益とも増加している。(実験装置設計製作等) ・使用する部品は輸入品が多く、輸出国がロックダウンして納期が半年遅れることや輸送費の高騰、多く使用する鉄板・ステンレス・その他アルミなどの鋼材も軒並み高騰し、売上は前年同期比で約2割減少している。(電機設備関係)
輸送用機械	▲ 5.5 (▲ 13.3)	▲ 37.5 (▲ 33.3)	▲ 20.0 (▲ 25.0)	・新型コロナ感染拡大の影響で海外工場停止による部品供給の一次休止で完成車が製造できないため、当社部品供給も一時休止している。原油の高騰や海外の出荷状況等が関係して、金属の仕入れ値が上がっている。完成車の発注はあるので部品供給が戻れば当社部品も出荷できる。 ・今期は国内の自動車生産が減っていることにもない、当社発注も減っているため業況は悪い。来期以降は、国内需要が戻ってくるので業況は向上していく見通し。(いずれも自動車部品製造)
建設業	▲ 12.2 (▲ 15.1)	▲ 15.5 (▲ 13.8)	▲ 14.5 (▲ 14.5)	・昨年度は、新型コロナの影響でクライアントの設備投資が縮小したため売上等減少したが、今年度はその反発で売上が増加している。国内需要は今後も安定する見込みだが、海外需要は新型コロナや政情不安により需要が縮小すると予測している。(プラントエンジニアリング) ・電気設備設計・施工の業務に新型コロナの影響は特になかった。受注は好調なので売上は増加する見通し。社員に月1回PCR検査を実施し、感染拡大防止に努めている。(電気設備設計・施工)
運輸・倉庫業	▲ 40.7 (▲ 50.0)	▲ 35.5 (▲ 34.0)	▲ 32.8 (▲ 32.6)	・グループ会社のホテル事業や鉄道事業は新型コロナの影響により、厳しい業況が続いていく見通し。来年度以降は、現時点での見通しは不透明であるが、GoToキャンペーン等により変化する可能性はあるとみている。(シェアードサービス) ・今期は、緊急事態宣言解除があり、飲食店が通常営業するようになったことや、テレワークをする企業が減ったことにより、顧客が増え売上も増加している。(タクシー)
卸売業	▲ 37.5 (▲ 39.4)	▲ 12.9 (▲ 14.9)	▲ 17.7 (▲ 14.9)	・これからマグロ・カニ等が旬であり、おせちで使用されるかまぼこ等の需要増が年末に向け見込まれるため、今期の売上は増加する。(水産卸売) ・今期は全般的に生花が品薄のため値上がり、取扱金額は増えている。(生花卸売)
小売業	▲ 55.5 (▲ 50.0)	▲ 40.4 (▲ 50.0)	▲ 41.3 (▲ 55.6)	・巣ごもり需要により観葉植物等の園芸関係の売上が増加していることや、クリスマスや正月の園芸需要増加等によって業況は良い。今後も園芸関係の需要はあると見込んでいる(園芸小売) ・飲食店などへの酒類販売が落ち込んでいるため、今期業況は悪いとした。来期以降もこの状況は続き、新型コロナ感染拡大以前の状態に戻るの、かなり先になると考えている。(酒類販売)
飲食店・宿泊業	▲ 100.0 (▲ 100.0)	▲ 76.2 (▲ 66.7)	▲ 80.0 (▲ 71.4)	・緊急事態宣言解除により観光需要が戻ってきており、客室稼働率も徐々に回復しているが、ビジネスの利用客は戻ってきておらず平時にはまだ遠い。収益面では新型コロナ感染拡大前に比べると約4割。GoToトラベルが再開すれば観光需要がさらに戻り売上も回復すると考えている。(宿泊) ・緊急事態宣言解除により徐々に客足は戻ってきているが、新型コロナ感染拡大前に比べ6~7割程度。忘年会の予約はまだ入っておらず、様子見をしていると思われる。(飲食)
不動産業	▲ 29.4 (▲ 42.9)	▲ 28.2 (▲ 40.0)	▲ 32.3 (▲ 36.8)	・入居テナントが業績悪化等を理由に退去したり、今後も退去するテナントがあるので、以前より空室率が高くなっている。新規入居の問い合わせは少ないがある。貸会議室の予約は緊急事態宣言中はキャンセルがあったが、解除後は通常の利用状況である。 ・新型コロナの影響は、不動産賃貸管理にはあまり影響はなく、今後も影響はない見込み。来期は引越しのシーズンのため、売上は増加する。(いずれも不動産業)
情報サービス業	▲ 6.1 (▲ 14.3)	▲ 5.0 (▲ 22.2)	▲ 12.8 (▲ 33.3)	・新型コロナ感染拡大の影響で、計画通り進んでいない事業が出ている。来期以降に影響が出てくる見通し。イベント関連事業にも影響が出ており、新型コロナ感染拡大前に比べ、売上は減少している。(システム開発) ・大型システムのメンテナンス業務が継続してあるので売上は少しずつ増加している。今後もメンテナンス業務があることや新規の顧客もあるので、業況は安定している。(システム保守運用)
対事業所サービス業	▲ 25.6 (▲ 14.2)	▲ 19.3 (▲ 26.7)	▲ 16.4 (▲ 26.7)	・多数の業種、事業者からの労働者派遣需要は高い水準にあるが、派遣登録者数は低い水準が続いている。安定した派遣労働者の紹介ができず、売上は減少している。再来期は年度替わり時期なので、労働力の需要増加や売上・経常利益の増加が見込まれる。(人材派遣) ・売上は前年度と比べると3割程度増加している。新型コロナ感染状況が改善したこと等により、不動産・建築関係の受注が増加した。今後も受注は増加していく見通しである。(建築設計・監理)
对个人サービス業	▲ 25.9 (▲ 29.4)	▲ 25.0 (▲ 33.3)	▲ 12.5 (▲ 20.9)	・今期売上は前期から変わらなで、業況は普通とした。来期は、学年が変わる4月に向け、生徒が増えていくため、業況は良くなっていく見込み。教室も増やしていく予定である。(学習塾) ・緊急事態宣言解除後は新しい利用者が増加している。今後も利用者が増える傾向が続く見通しで業況も向上していく見込み。(福祉施設)

※BSI=自社業況「良い」%-自社業況「悪い」%

※今期の BSI (全規模) が前期よりも 10 ポイント以上差がある、

業種については、矢印を表記している。

※表中の見方は右図の通り。

	← 天気マーク(下図参照)
▲ 5.8	← 全規模のBSI値
(▲ 22.2)	← 中小企業のBSI値

BSI	▲60.1以下	▲60.0~ ▲40.1	▲40.0~ ▲20.1	▲20.0~ ▲5.1	▲5.0~ 5.0	5.1~ 20.0	20.1以上
天気							

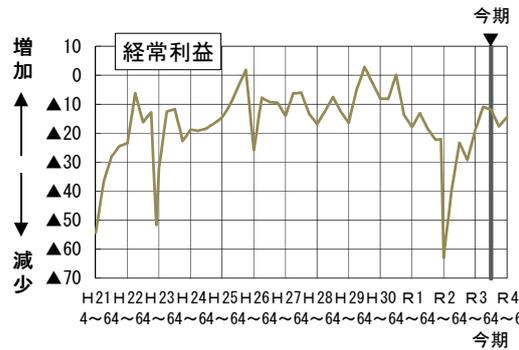
## 2 主要項目の推移

### 【主要項目(全産業)の推移】

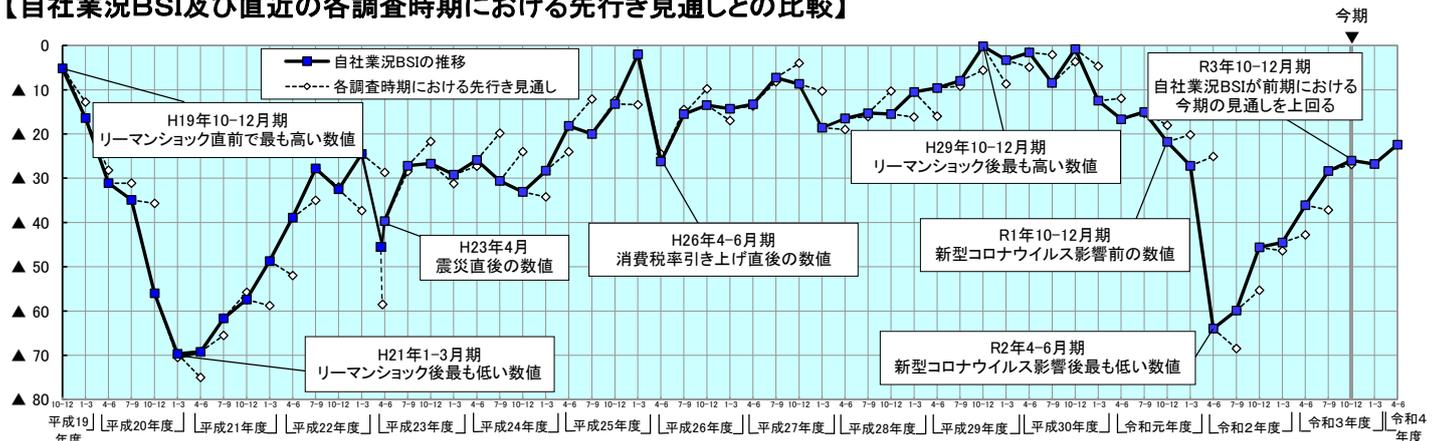
	令和3年 1-3月期	令和3年 4-6月期	令和3年 7-9月期 (前期)	令和3年 10-12月期 (今期)	今期-前期	令和4年 1-3月期 (来期)	令和4年 4-6月期 (再来期)
	自社業況	▲44.5	▲36.1	▲28.4	▲26.0	2.4	▲26.8
(1)生産・売上	▲28.5	▲13.4	▲6.3	▲3.2	3.1	▲9.7	▲8.7
(2)経常利益	▲29.3	▲19.0	▲11.0	▲11.9	▲0.9	▲17.7	▲14.6
(3)資金繰り	▲15.6	▲3.8	▲4.3	▲5.8	▲1.5	▲6.3	
(4)雇用人員	▲11.1	▲12.7	1.3	0.8	▲0.5	4.2	
(5)生産・営業用設備	▲0.3	0.5	8.0	9.4	1.4	7.9	5.6

(注) 令和4年1-3月期及び令和4年4-6月期は見通し。

(3) 資金繰り及び(4) 雇用人員については、令和4年4-6月期の見通しは調査対象外としている。



### 【自社業況BSI及び直近の各調査時期における先行き見通しとの比較】



(参考資料) 自社業況BSI (業種別・規模別の推移)

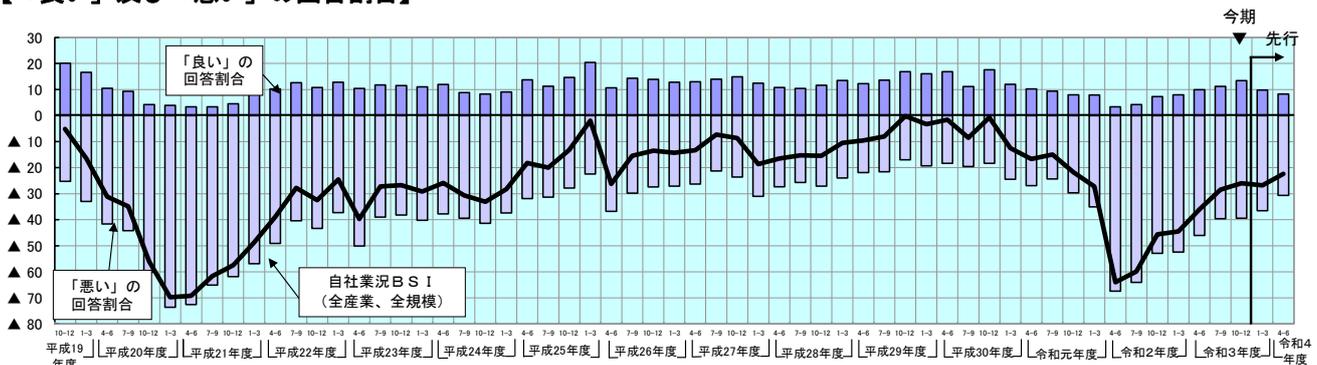
	令和3年	令和3年	10-12月期の回答の割合%	良い	普通	悪い	令和4年	令和4年	回答 企業数
	7-9月期	10-12月期					今期-前期	1-3月期	
全産業	▲ 28.4	▲ 26.0	2.4	13.4	47.2	39.4	▲ 26.8	▲ 22.4	672
製造業	▲ 22.1	▲ 27.2	▲ 5.1	19.1	34.6	46.3	▲ 29.1	▲ 23.4	257
食料品等	▲ 25.0	▲ 28.6	▲ 3.6	14.3	42.9	42.9	▲ 35.8	0.0	14
繊維・衣服等	▲ 75.0	▲ 70.0	5.0	0.0	30.0	70.0	▲ 62.5	▲ 50.0	10
印刷	▲ 53.8	▲ 52.9	0.9	5.9	35.3	58.8	▲ 46.7	▲ 46.7	17
石油・化学等	▲ 27.3	▲ 21.7	5.6	8.7	60.9	30.4	▲ 22.7	▲ 19.1	23
鉄鋼・金属等	▲ 7.9	▲ 23.3	▲ 15.4	25.0	26.7	48.3	▲ 27.1	▲ 28.6	60
一般機械	▲ 32.6	▲ 35.2	▲ 2.6	16.7	31.5	51.9	▲ 34.6	▲ 25.6	54
電機・精密等	▲ 5.0	▲ 2.4	2.6	30.2	37.2	32.6	▲ 9.7	▲ 8.1	43
輸送用機械	▲ 5.5	▲ 37.5	▲ 32.0	18.8	25.0	56.3	▲ 20.0	▲ 13.4	16
その他製造業	▲ 35.3	▲ 25.0	10.3	20.0	35.0	45.0	▲ 44.5	▲ 33.3	20
非製造業	▲ 33.0	▲ 25.3	7.7	9.9	54.9	35.2	▲ 25.4	▲ 21.8	415
建設業	▲ 12.2	▲ 15.5	▲ 3.3	6.9	70.7	22.4	▲ 14.5	▲ 18.8	58
運輸・倉庫業	▲ 40.7	▲ 35.5	5.2	11.3	41.9	46.8	▲ 32.8	▲ 28.8	62
卸売業	▲ 37.5	▲ 12.9	24.6	14.5	58.1	27.4	▲ 17.7	▲ 15.8	62
小売業	▲ 55.5	▲ 40.4	15.1	6.4	46.8	46.8	▲ 41.3	▲ 32.7	47
飲食店・宿泊業	▲ 100.0	▲ 76.2	23.8	0.0	23.8	76.2	▲ 80.0	▲ 72.2	21
不動産業	▲ 29.4	▲ 28.2	1.2	3.1	65.6	31.3	▲ 32.3	▲ 31.0	32
情報サービス業	▲ 6.1	▲ 5.0	1.1	20.0	55.0	25.0	▲ 12.8	0.0	40
対事業所サービス業	▲ 25.6	▲ 19.3	6.3	12.3	56.1	31.6	▲ 16.4	▲ 16.7	57
对个人サービス業	▲ 25.9	▲ 25.0	0.9	5.6	63.9	30.6	▲ 12.5	▲ 6.3	36

BSI (Business Survey Index) は、景気の強弱感を次の算式により求めている。BSI = 良い% - 悪い%

	令和3年	令和3年	10-12月期の回答の割合%	良い	普通	悪い	令和4年	令和4年	回答 企業数
	7-9月期	10-12月期					今期-前期	1-3月期	
全産業	▲ 28.4	▲ 26.0	2.4	13.4	47.2	39.4	▲ 26.8	▲ 22.4	672
大企業	▲ 20.0	▲ 12.8	7.2	10.3	66.7	23.1	▲ 12.8	▲ 2.7	39
中堅企業	▲ 22.9	▲ 17.6	5.3	12.0	58.3	29.6	▲ 17.5	▲ 7.3	108
中小企業	▲ 30.5	▲ 28.8	1.7	13.9	43.4	42.7	▲ 29.9	▲ 26.9	525
うち小規模企業	▲ 39.0	▲ 32.2	6.8	14.6	38.6	46.8	▲ 32.7	▲ 29.1	171
製造業	▲ 22.1	▲ 27.2	▲ 5.1	19.1	34.6	46.3	▲ 29.1	▲ 23.4	257
大企業	11.1	0.0	▲ 11.1	22.2	55.6	22.2	0.0	11.1	9
中堅企業	22.2	▲ 33.3	▲ 55.5	0.0	66.7	33.3	▲ 25.0	16.7	9
中小企業	▲ 25.4	▲ 28.0	▲ 2.6	19.7	32.6	47.7	▲ 30.4	▲ 26.0	239
うち小規模企業	▲ 35.5	▲ 31.4	4.1	19.6	29.4	51.0	▲ 31.2	▲ 24.4	102
非製造業	▲ 33.0	▲ 25.3	7.7	9.9	54.9	35.2	▲ 25.4	▲ 21.8	415
大企業	▲ 29.1	▲ 16.6	12.5	6.7	70.0	23.3	▲ 16.7	▲ 7.1	30
中堅企業	▲ 27.6	▲ 16.2	11.4	13.1	57.6	29.3	▲ 16.9	▲ 8.9	99
中小企業	▲ 36.1	▲ 29.4	6.7	9.1	52.4	38.5	▲ 29.3	▲ 27.7	286
うち小規模企業	▲ 47.1	▲ 33.4	13.7	7.2	52.2	40.6	▲ 34.9	▲ 36.0	69

(※) 回収数 (679件) のうち、無回答数 (7件) を除いた値。

【「良い」及び「悪い」の回答割合】



◎ 報告書掲載 URL <https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/tokei-chosa/keikyou.html>

問合せ先		
経済局政策調整部企画調整課長	高橋 正海	Tel 045-671-2565
横浜商工会議所企画課長	牧畑 昌明	Tel 045-671-7433